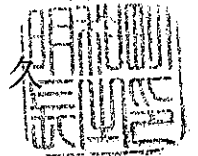


明都第 1154号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

明和町長 恩 田



中期的な計画の作成にあたっての意見について（回答）

明和町は、群馬県の東南端に位置し、南は利根川を隔てて埼玉県羽生市と接し、北は谷田川を挟んで館林市に接した人口11,000人強の工業と農業が調和した町です。

昭和37年に国道122号の昭和橋が完成し、昭和47年には、東北自動車道が開通したことに伴い、工場や住宅等の開発が進み、準農村地帯から都市的な様相へと変貌しました。

本町のような地方の町において地域の活性化を図るためには、社会基盤である道路のネットワーク整備が大変重要な役割を担っております。高速道路や国県道などの広域的な幹線道路が整備されることにより、物流、人的交流が進み、企業立地や商業振興においてもメリットをもたらし、地域経済の活性化に大きな効果を上げることができます。

また、本町は利根川や渡良瀬川等の河川に囲まれた東毛地区に位置しているため、首都圏へのアクセスや地理的につながりの深い栃木県南西部との広域的な交流には、橋梁の整備が必要不可欠です。現在整備されている幹線道路においては、橋梁部で交通渋滞が発生し、十分にその機能を発揮することができない状況です。

そこで、本町としましては、新橋の建設及び既設橋梁の四車線化を早急に図ることにより、幹線道路の機能を高めることを優先度の高い政策として要望いたします。